

平成27年度
農業農村整備優良地区コンクール
実施要領



全国水土里ネット

農業農村整備優良地区コンクールの実施について

1. 農業農村整備優良地区コンクールの概要

表彰部門は平成26年度と同様とし、農業生産基盤整備部門及び農村振興整備部門で実施する。

なお、本表彰にかかる選定審査会は、21世紀土地改良区創造運動表彰の中央選考委員会と合同で実施するものとし、選定審査会に先立ち、21世紀土地改良区創造運動表彰と合同で事前選考会を実施する。なお、事前選考会は、選定審査会で審査する地区数を絞り込むことができるものとする。

選定審査会で選定する優良地区数は以下の通り。

- ① 農林水産大臣賞 各部門2点まで
- ② 農村振興局長賞 各部門4点まで
- ③ 全国水土里ネット会長賞 各部門数点

2. 農業生産基盤整備部門の参加

農業生産基盤の整備の実施（農業農村整備事業のみならず、地域自主戦略交付金や農山漁村地域整備交付金で実施した地区も含む）を契機に、生産性や収益性の高い農業経営の展開を積極的に推進している地区、若しくは確実に見込まれる地区を表彰。

3. 農村振興整備部門の参加

農村整備の実施を契機に、農村の振興に向けて地域一体（市町村、土地改良区（以下「水土里ネット」という。）、地域住民等の団体など）となった、活力と個性ある地域づくりを進めており、他の模範となるなど、優れた成果を上げている市町村、水土里ネット、地域住民等の団体を表彰。

4. コンクール参加地区

候補地区（市町村、水土里ネット、地域住民の団体など）は、都道府県水土里ネットが別途定める日までに参加申し込みを行い、地区調書を提出する。

農政局、都道府県と都道府県水土里ネットが連携し候補地区の選定を行う。

都道府県水土里ネットは、全国水土里ネットの会長が定める期日（8月中旬）までに、候補地区を全国水土里ネットに登録するものとする。

当該都道府県水土里ネット会長は、全国水土里ネットの会長が定める期日（8月末）までに同会長あてに申請調書を添えて推薦するものとする。

5. 全国水土里ネット(選定審査会)提出資料

- (1) 農業生産基盤整備部門
 - ①農業生産基盤整備部門地区調書: 1部
 - ②農業生産基盤整備部門・別添1: 農業農村整備優良地区コンクール参加地区の概要1部
 - ③その他説明用資料: 1部
 - (2) 農村振興整備部門
 - ①農村振興整備部門地区調書: 1部
 - ②農村振興整備部門・別添2: 農業農村整備優良地区コンクール参加地区の概要1部
 - ③その他説明用資料: 1部
- なお、各部門ともそれぞれのデータについても併せて提出する。

6. 選定審査会

選定審査会は、学識経験者により構成し、21世紀土地改良区創造運動表彰の中央選考委員会と合同で実施する。なお、選定審査会に先立ち、21世紀土地改良区創造運動表彰と合同で事前選考会を実施する。

- (1) 現地調査の実施
過年度大臣賞受賞地区のうち必要に応じて1～2地区のフォローアップ調査を実施する。
- (2) 事前選考会
農林水産省の職員及び全国水土里ネットの役職員で構成する事前選考会で書面審査を行い、推薦のあった地区を絞り込むことができるものとする。
- (3) 選定審査会
推薦のあった地区について、申請者のプレゼンテーション及び書面審査を行い、農林水産大臣賞、農村振興局長賞及び全国水土里ネット会長賞の候補地区を選定する。

■スケジュール

- | | |
|---------------|-----------|
| ・候補地区の登録 | 8月21日 |
| ・調書の提出 | 8月31日 |
| ・事前選考会 | 10月 |
| ・選定審査会 | 11月 |
| ・大臣賞・局長賞の交付申請 | 11月下旬～12月 |
| ・各賞決定通知 | 12月 |
| ・表彰 | 3月下旬 |

7. 表彰

表彰は、平成28年3月下旬に予定されている全国土地改良功労者表彰式と併せて実施する。

農業農村整備優良地区コンクール 実施要領

第1 趣旨

農業生産基盤や農村の生活・自然環境等の整備は、食料の安定供給の確保、多面的機能の発揮、農業の持続的な発展、農村の振興を目的として実施されている。

また、土地改良法が改正され、環境との調和への配慮、地域の意向を踏まえた事業計画の策定等が位置づけられたことを踏まえ、地域住民主体の個性豊かで魅力ある地域づくりが重要となっている。

さらに今般、「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」（以下、「多面的機能の法律」という。）に基づく「多面的機能支払制度」を始めとした制度が施行されることにより、農村の振興を進める上で多面的機能維持活動等の必要性が増大することとなった。

このため、関係事業や制度を契機として、効率的かつ安定的な農業経営を行うため、生産性や収益性の高い農業の展開を積極的に推進している地区、また、地域独自の施策の展開や環境への配慮など、農村の振興を図り、活力と個性ある地域づくりを進めている地区及び団体を対象に優良地区コンクールを実施し、今後の農業・農村地域の発展と振興に資するものとする。

第2 実施主体

全国土地改良事業団体連合会（以下「全国水土里ネット」という。）

第3 優良地区（団体）の選定区分

本コンクールの選定区分は、以下のとおりとする。

1. 農業生産基盤整備部門
2. 農村振興整備部門

第4 優良地区の選定方法

1. コンクール参加の資格と申込み

(1) コンクール参加資格

① 農業生産基盤整備部門

農業生産基盤の整備の実施（農業農村整備事業のみならず、地域自主戦略交付金や農山漁村地域整備交付金で実施した地区も含む）を契機に、生産性や収益性の高い農業経営の展開を積極的に推進している地区、若しくは確実に見込まれる地区。

注）実施中の地区については、主要工事がおおむね完了しており、ある程度の成果が図られていること。

②農村振興整備部門

「多面的機能の法律」に基づく支払制度（但し、「多面的機能支払制度」又は「中山間地域等直接支払制度」に限る。）の導入や農村整備の実施を契機に、農村の振興に向けて地域一体（市町村、土地改良区（以下「水土里ネット」という。）、地域住民等の団体など）となった、活力と個性ある地域づくりを進めており、他の模範となるなど、優れた成果を上げている市町村、水土里ネット、地域住民等の団体。

(2) コンクール参加の申込み

コンクール参加希望の市町村、水土里ネット、地域住民等の団体は、別途当該都道府県土地改良事業団体連合会（以下「都道府県水土里ネット」という。）の会長が定める期日までに別紙様式－1を同会長あてに提出することにより申込みものとする。

2. 都道府県水土里ネット会長の推薦

都道府県水土里ネット会長は、市町村、水土里ネット、地域住民等の団体からの参加申込みがあったときは、都道府県担当部局と協議のうえ、農業農村整備優良地区コンクール選定基準に該当する優良地区を選定し、別紙様式－2により、全国水土里ネットの会長が定める期日までに同会長あてに推薦するものとする。

3. 事前選考会

①事前選考会

事前選考会は、都道府県水土里ネット会長から推薦された市町村、水土里ネット、地域住民等の団体の取り組み等について審査を行い、その結果に基づいて選定審査会で審査する地区数を絞り込むことができるものとする。

②事前選考会の委員構成は次のとおりとする。

農林水産省の職員	若干名
全国水土里ネットの役職員	若干名

4. 選定審査会

①選定審査会

選定審査会は、事前選考会の審査結果に係る市町村、水土里ネット、地域住民等の団体の取り組み等について審査を行い、その結果に基づいて次に掲げる優良事例を選定するものとする。

【農業生産基盤整備部門】

農林水産大臣賞	…… 2点まで
農村振興局長賞	…… 4点まで
全国水土里ネット会長賞	…… 数点

【農村振興整備部門】

農林水産大臣賞	……	2点まで
農村振興局長賞	……	4点まで
全国水土里ネット会長賞	……	数点

- ②選定審査会の委員構成は次のとおりとし、全国水土里ネット会長が委嘱する。
学識経験者 若干名

第5 選定基準

選定は、別紙「農業農村整備優良地区コンクール選定基準」によって行うものとする。

第6 表彰等

表彰は、関係者の参集を得て行うこととし、その他の必要な事項は別に定める。

農業農村整備優良地区コンクール参加申込書

平成 年 月 日

都道府県土地改良事業団体連合会長 殿

参加団体名

代表者名

印

このことについて、農業農村整備優良地区コンクール実施要領第4の1の(2)の規定に基づき、下記のとおり参加を申し込みます。

記

1. 参加部門（参加する部門にチェックを入れてください。）

- 農業生産基盤整備部門
- 農村振興整備部門

2. 参加地区名

当該市町村名		団体名	
地区名		代表者名	
整備した 年度と事業名		多面的機能支 払制度など※ の導入の有無	

※中山間地域等直接支払制度含む

3. 地区（団体）の概要及び成果などを簡潔に記述。

4. 農業農村整備優良地区コンクール地区調書・・・別添のとおり

番 号
平成 年 月 日

全国土地改良事業団体連合会
会 長 二 階 俊 博 殿

都道府県土連名

会長名

印

農業農村整備優良地区コンクールの推薦について

このことについて、農業農村整備優良地区コンクール実施要領第４の２の規定に基づき、下記地区を選定したので推薦します。

記

１．参加部門（参加する部門にチェックを入れてください。）

- 農業生産基盤整備部門
- 農村振興整備部門

２．参加地区名

当該市町村名		団体名	
地区名		代表者名	
整備した 年度と事業名		多面的機能支 払制度など※ の導入の有無	

※中山間地域等直接支払制度含む

３．推薦理由

４．農業農村整備優良地区コンクール地区調書・・・別添のとおり

農業農村整備優良地区コンクール・農業生産基盤整備部門 選定基準

選定基準	細目
<p>農業生産基盤整備※を契機として、以下の事項について特に優れた成果が見られ、他地域への波及効果が顕著であって先進的事例としてふさわしい地区を選定する。</p>	<p>a. 表彰種目 農林水産大臣賞（大臣賞） 2点まで 農林水産省農村振興局長賞（局長賞） 4点まで 全国水土里ネット会長賞（会長賞） 数点</p> <p>b. 選定対象について (1) 原則として、事業完了後おおむね10年以内のものを対象とする。 (2) 他の類似した国の表彰（農林水産大臣表彰等）を受けたものは対象外とする。 （民間団体、県知事等の表彰を受けたものは対象としてよい。）</p>
<p>1. 農業の生産性向上、体質強化 （水田）区画の拡大、農地の集団化、担い手への農地の利用集積による生産性の高い水田農業の確立</p> <p>（畑地）農地の集団化、担い手への農地の利用集積による生産性の高い畑作農業の確立</p>	<p>○ 事業を契機として、担い手（個人・法人・集落営農）への農地の利用集積や面的集約が進み、大規模で効率的な農業が行われていること。 ○ 事業を契機として、農業生産法人や集落営農が組織され、生産性の高い農業が行われていること。</p>
<p>2. 地域の特徴を活かした収益性の高い農業経営の確立 （水田）水田の汎用化を活かした、品質・付加価値の高い転作物の定着等</p> <p>（畑地）畑地かんがい施設等の整備による品質・付加価値の高い新規作物の導入等</p>	<p>○ 農地・用排水条件の改良により、地域の特徴を活かした品質・付加価値の高い農産物の生産が行われていること。 ○ 主食用米だけでなく非主食用米、麦、大豆、野菜、果樹など、複合的な農業経営が行われていること。 ○ 飼料作物を畜産農家に供給し、又は家畜糞尿を肥料として利用するなど、耕畜連携が行われていること。</p>
<p>3. 各種土地利用計画を踏まえた土地利用秩序の形成</p>	<p>○ 地域住民の連帯感の高まりにより、生活環境の整備、景観の維持・向上活動等、意欲的な取り組みにつながっていること。 ○ 農地の集団化、非農用地の創出等により合理的な土地利用が図られ、農業振興、景観の維持・向上等につながっていること。</p>
<p>4. 地域資源の維持・保全</p>	<p>○ 施設の改修・改築により、施設・農地等の地域資源の適切な保全・管理がなされていること。また、地域の防災機能の維持・強化が図られていること。</p>
<p>5. 農業・農村の有する多面的機能の維持・増進に対する取り組み</p>	<p>○ 計画の段階から地域の特徴を踏まえ、農業・農村の有する多面的機能（国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等）が適切かつ十分に発揮されるよう地域ぐるみで努めていること。 ○ 多面的機能についての普及活動や情報共有が地域ぐるみでなされていること。 ○ 多面的機能支払交付金などの有効な活用により、地域の営農活動の活性化につながっていること。</p>
<p>6. その他選定審査会が特に優れたものとして認めるもの</p>	<p>○ 農林水産省の他施策又は他府省庁施策と効果的に連携し産業振興（生産性向上、所得向上、雇用創出、6次産業化、ブランド化、輸出促進等）につながっていること。 ○ 加えて、産業振興の結果が地域の活性化につながっていること。</p>

※農業生産基盤整備の例

- ・農業競争力強化基盤整備事業（戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業、経営体育成基盤整備事業、ほ場整備事業、畑地帯総合整備事業、補助かんがい排水事業等）
- ・農業水利施設保全合理化事業、農村地域防災減災事業、農業基盤整備促進事業
- ・農山漁村地域整備交付金（地域自主戦略交付金等）のうち、農地整備事業、水利施設整備事業、農村地域防災減災事業
- ・多面的機能支払交付金（農地・水保全管理支払交付金等）…上記の事業と合わせて実施しているもの。

農業農村整備優良地区コンクール・農村振興整備部門 選定基準

選定基準	細目						
<p>農村整備※を契機として、以下の事項について特に優れた成果が見られ、他地域への波及効果が顕著であって先進的事例としてふさわしい地区（団体）を選定する。</p>	<p>a. 表彰種目</p> <table border="0"> <tr> <td>農林水産大臣賞（大臣賞）</td> <td>2点まで</td> </tr> <tr> <td>農林水産省農村振興局長賞（局長賞）</td> <td>4点まで</td> </tr> <tr> <td>全国水土里ネット会長賞（会長賞）</td> <td>数点</td> </tr> </table> <p>b. 選定対象について</p> <p>(1) 原則として、事業完了後おおむね10年以内のものを対象とする。</p> <p>(2) 他の類似した国の表彰（農林水産大臣表彰等）を受けたものは対象外とする。（民間団体、県知事等の表彰を受けたものは対象としてよい。）</p>	農林水産大臣賞（大臣賞）	2点まで	農林水産省農村振興局長賞（局長賞）	4点まで	全国水土里ネット会長賞（会長賞）	数点
農林水産大臣賞（大臣賞）	2点まで						
農林水産省農村振興局長賞（局長賞）	4点まで						
全国水土里ネット会長賞（会長賞）	数点						
<p>1. 地域の特色を活かした基盤・施設整備</p>	<p>○ 地域の自然環境・歴史・文化に配慮して事業計画が作成され、基盤・施設が整備されていること。</p> <p>○ 棚田等の特徴的な地形条件、農村景観を活かした事業により、個性ある農業・農村の形成につながっていること。</p>						
<p>2. 多様な主体の参画による共同活動の活発化</p>	<p>○ 農業者を中心に地域住民や都市住民等の多様な主体の参画により、環境保全活動、生き物調査・観察会、小中学校と連携した環境学習、セミナー、ワークショップなど、地域づくり活動が活発化していること。</p> <p>○ 農産物加工施設や直売所等が整備され、農産物の生産から加工・販売など6次産業化の取り組みが行われていること。</p>						
<p>3. 中山間地域における条件の不利を克服した取り組み</p>	<p>○ 条件不利地域であることを克服した特色のある農業や地域共同活動等が行われていること。</p> <p>○ 中山間地域の保全につながる活動（棚田オーナー制度等）が行われていること。</p> <p>○ 中山間地域等直接支払交付金の有効な活用により、農業生産・多面的機能が維持・確保されていること。</p>						
<p>4. 地域資源の有効活用、歴史・文化の保全継承</p>	<p>○ 地域の自然資源、再生可能エネルギー等の有効活用が図られていること。</p> <p>○ 各種文化活動の促進、伝統芸能の維持・復活など、地域の歴史・文化の認識共有、保全継承が図られていること。</p>						
<p>5. 農業・農村の有する多面的機能の維持増進に対する取り組み</p>	<p>○ 農業・農村の有する多面的機能（国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等）が適切かつ十分に発揮されるよう地域ぐるみで努めていること。</p> <p>○ 多面的機能についての普及活動や情報共有が地域ぐるみでなされていること。</p> <p>○ 多面的機能支払交付金の有効な活用により、地域の共同活動の活性化につながっていること。</p>						
<p>6. その他選定審査会が特に優れたものとして認めるもの</p>	<p>○ 農林水産省の他施策又は他府省庁施策と効果的に連携して地域振興（農村コミュニティの維持・活性化、地域共同活動の活性化、都市農村交流の活性化、U・Iターン者の増加等）につながっていること。</p> <p>○ 21世紀土地改良区創造運動大賞申請地区のうち、特に国の「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づく「多面的機能支払制度」又は「中山間地域等直接支払制度」に積極的に参画し、活動が土</p>						

※農村整備の例

- ・ 農山漁村地域整備交付金（地域自主戦略交付金等）のうち、中山間地域総合整備事業、農業集落基盤整備事業
- ・ （農村総合整備事業、農村振興整備事業、田園整備事業、農道整備事業、農業集落排水事業）…括弧は旧事業名
- ・ 多面的機能支払交付金（旧農地・水保全管理支払交付金等）…上記の事業と合わせて実施しているもの。
- ・ 農山漁村活性化プロジェクト交付金…上記の事業と合わせて実施しているもの。

◆ 全国水土里ネット提出書類 ～農業生産基盤整備部門～

1. 農業農村整備優良地区コンクールの推薦について（別紙様式－2）
2. 農業農村整備優良地区コンクール参加地区の概要（農業生産基盤整備部門）（別添1）
3. 農業農村整備優良地区コンクール（農業生産基盤整備部門）地区調書

4. その他説明資料

(1) 写真・パンフレット等

◇取り組み内容やPRすべきことなどがわかる写真やパンフレット。

例えば

- ・地区の全景についての整備前・整備後の状況写真。
- ・主要施設及び営農や営農に関する取り組み状況などのわかる写真。
- ・施設整備や営農において、多面的機能の配慮等がなされている写真など。
- ・加工、流通、販売などの写真。
- ・その他必要と思われる写真など。

(2) 図面等の資料

水田整備の場合

- ・整備前と整備後の農地の利用集積図など。

畑地整備の場合

- ・地区の主要作物の作付けの区域がわかる土地利用図など。

(3) その他資料

マスメディアを活用した資料(新聞掲載記事)など。

5. 提出部数

- 農業農村整備優良地区コンクール（農業生産基盤整備部門）地区調書
 - ・・・1部及びデータ
- 農業農村整備優良地区コンクール参加地区の概要（農業生産基盤整備部門）（別添1）
 - ・・・1部及びデータ
- その他説明資料
 - ・・・1部及びデータ

※なお、データは修正可能なファイル（word、一太郎等）をCDに保存して提出してください。

(農業生産基盤整備部門)

- ◆農業農村整備優良地区コンクール審査会へ推薦された場合の問い合わせ先。
(別紙にしてください。担当者名簿の提出部数は1部で結構です。)

- ・参加地区担当者

氏名： _____ 所属・職名： _____ 電話番号： _____
携帯番号： _____

- ・都道府県水土里ネット担当者

氏名： _____ 所属・職名： _____ 電話番号： _____
携帯番号： _____

(別添1)

農業農村整備優良地区コンクール参加地区の概要（農業生産基盤整備部門）（記入例）

I 地区の概要 (2. より転記)

ふりがな 地区名	〇〇県 △△第一（さんかくさんかくだいいち）地区
ふりがな 参加団体	ふりがな 名 称：水土里ネット〇〇△△（みどりねっとまるまるさんかくさんかく） 住所：〒 ふりがな 代表者氏名： Tel. Fax.
事業の概要（事業名、工期、 総事業費、受益面積・戸数）	県営畑地帯総合整備事業（担い手育成型）、H2年度～H16年度、5,000百万円、350ha・218戸
主要工事・規模	畑地かんがい350ha

II 受益地区内における農家及び担い手の状況など（事業実施前→現在）

1. 農家数の状況 (4. より転記)	◇総農家数 218戸(22戸)→209戸(22戸) 95.9%(100.0%) ・内専業農家数 184戸(22戸)→180戸(22戸) 97.8%(100.0%) ・内認定農業者数 23人(14人)→75人(19人) 326.1%(135.7%) ※()の数字は担い手の数を表す。
2. 生産組織等の状況 ※生産組織等毎に記入 (4. より転記)	◇生産組織（法人含む）の数 0組織→2組織 ・生産組織の名称：〇〇営農組合（H16設立） ・生産組織の概要：経営面積 8.3ha、受託戸数 31戸、ホバレータ等 5人 ・生産組織の名称：△△転作組合（H16設立） ・生産組織の概要：経営面積 6.2ha、受託戸数43戸、ホバレータ等 5人
3. 農用地の流動化状況 (4. より転記)	◇受益面積 376ha→345ha 91.8% ・担い手の作付面積 45.14ha→76.16ha 168.7% ・内、利用権設定面積 6.40ha→39.49ha 617.0% ・内、受託面積 0ha→0ha
4. 農業経営状況について (5. より転記)	◇主たる作物別労働時間 (作物名：レタス) 52.5hr/10a→41.2hr/10a 78.4% (作物名：コンニャク) 125.0hr/10a→113.7hr/10a 91.0% ◇主たる作物の生産費 (作物名：レタス) 265千円/10a→196千円/10a 74.0% (作物名：コンニャク) 437千円/10a→347千円/10a 79.4% ◇主たる作物の反収 (作物名：レタス) 2,440kg/10a→3,180kg/10a 130.3% (作物名：コンニャク) 2,550kg/10a→3,075kg/10a 120.6% ◇耕地利用率 事業実施前 376ha(100%)→現在 345ha(100%)→目標 345ha(100%)

III 推薦理由

地区調書中の「推薦理由の概要」を記載してください。

※記入に当たっては、A4・1枚で納めてください。

農業農村整備優良地区コンクール参加地区の概要

I 地区の概要

ふりがな 地区名			
ふりがな 参加団体	ふりがな 名称： 住所：〒 ふりがな 代表者氏名：	Tel.	Fax.
事業の概要（事業名、工期、 総事業費、受益面積・戸数）			
主要工事・規模			

II 受益地区内における農家及び担い手の状況など（事業実施前→現在）

1. 農家数の状況	◇総農家数	戸（ 戸）→	戸（ 戸）	%（ %）
	・内専業農家数	戸（ 戸）→	戸（ 戸）	%（ %）
	・内認定農業者数	人（ 人）→	人（ 人）	%（ %）
			※（ ）の数字は担い手の数を表す。	
2. 生産組織等の状況 ※生産組織等毎に記入	◇生産組織（法人含む）の数	組織→	組織	
	・生産組織の名称：		（ 年設立）	
	・生産組織の概要：経営面積	ha、	受託戸数 戸	ホ°レーター等 人
	・生産組織の名称：		（ 年設立）	
	・生産組織の概要：経営面積	ha、	受託戸数 戸	ホ°レーター等 人
3. 農用地の流動化状況	◇受益面積	ha→	ha（ %）	
	・担い手の作付面積	ha→	ha（ %）	
	・内、利用権設定面積	ha→	ha（ %）	
	・内、作業受託面積	ha→	ha（ %）	
4. 農業経営状況について	◇主たる作物の労働時間			
	（作物名： ）	hr/10a→	hr/10a（ %）	
	（作物名： ）	hr/10a→	hr/10a（ %）	
	◇主たる作物の生産費			
	（作物名： ）	千円/10a→	千円/10a（ %）	
	（作物名： ）	千円/10a→	千円/10a（ %）	
	◇主たる作物の反収			
	（作物名： ）	kg/10a→	kg/10a（ %）	
	（作物名： ）	kg/10a→	kg/10a（ %）	
	◇耕地利用率	事業実施前 ha、 %→	現在 ha、 %→	目標 ha、 %

III 推薦理由

--

平成27年度

農業農村整備優良地区コンクール

農業生産基盤整備部門

－ 地区調書 －

都道府県名： _____

ふりがな
参加団体名： _____

ふりがな
地区名： _____

【位置図】

※管内の位置図の他、都道府県内のどの辺に位置するかも明示してください。

1. 地域の概要 (地域の地理的概要や特徴、農業や他産業の現状、環境や歴史的経緯などを記載)

2. 事業の概要

(1) 参加団体

ふりがな
団体名：

代表者 役職：

ふりがな
氏名：

住所 〒

連絡先 tel

fax

URL

e-mail

(2) 地区名： ふりがな

(3) 事業の概要

① 事業名：

② 工期 着工年度： ～ 完了年度： (事業完了後年数： 年)

③ 総事業費： 百万円、

④ 受益面積： ha、受益戸数： 戸

⑤ 標準区画規模 : 事業実施前 a → 完了後 a

⑥ 1 ha以上の区画合計面積：事業実施前 ha → 完了後 ha

⑦ 主要工事（工種と規模を記載すること）

3. 推薦理由

4. 受益地区における農家及び担い手の状況

(1) 受益地区における農家数の状況

区 分	事業実施前	現 在 (H)
総農家数	戸 (戸)	戸 (戸)
うち専業農家数	戸 (戸)	戸 (戸)
うち兼業農家数	戸 (戸)	戸 (戸)
認定農業者	人	人
生産組織等(法人含む)	組織	組織

【注】① () 内の戸数は、担い手農家数を記載願います。

②生産組織等の状況は「別紙、受益地区における生産組織等の具体的内容」のとおり。

(2) 農用地の流動化状況

項 目	事業実施前	現 在 (H)	目 標 (H)
受益面積	ha	ha	
担い手等の利用集積面積	ha	ha	ha
①利用権設定面積	ha	ha	ha
②受託面積	ha	ha	ha

5. 農業経営状況 (※記入欄が不足する場合には追加して記載願います。)

区分 作物名	事業実施前 (10 a 当たり)			現在 (10 a 当たり) H		
	労働時間 (hr)	収穫量 (kg)	生産費 (千円)	労働時間 (hr)	収穫量 (kg)	生産費 (千円)

【注】データの出典；

区分 作物名	作 付 面 積 の 推 移		
	事業実施前	現在 (H21)	目 標 (H)
	ha (ha)	ha (ha)	ha (ha)
	ha (ha)	ha (ha)	ha (ha)
	ha (ha)	ha (ha)	ha (ha)
計	ha (ha)	ha (ha)	ha (ha)
耕地利用率	%	%	%

【注】データの出典；

※上記表の (ha) には、担い手農家等の作付面積を記載願います。

6. 営農推進の状況

(1) 栽培技術関係

※記載項目例：直播栽培の導入、大型機械の導入、防除作業省力化、新技術の導入、土づくり（土壌管理状況、肥料の適正な施用、堆肥の適正な施用、農地還元等）など。

(2) 転作関係の状況

①整備後の転作の状況（現況）

・転作面積 ha（事業実施前の転作面積 ha）

②転作作物名と作付面積

・作物名： （ ha）

③新規作物等導入状況 ※畜産の場合は、面積の部分に「頭羽数」を記載願います。

・作物名： （ ha）

④転作や新規作物の導入にあたって、特にPRすること。

(3) 農産物の加工、流通、販売などに向けた取り組み

7. 環境に配慮した取り組み

※記載項目例：生態系に配慮したことなど。

（ほ場の冬期間の水はりによる生態系へ配慮、水路施工に伴う、石積み水路やビホフ[®]の設置、減農薬の取り組みなど。）

8. その他事業実施の効果による新たな取り組み

①余剰労働力の活用方法について

- 例えば：・新たな取り組み（直売所や加工所、地域特産品等の開発、集約型農業の取り組み、新規作物の導入など）
・規模拡大に向けての労働力の提供など

②新たな雇用の場の創出

- 例えば：直売所、加工所の実施に伴う雇用の場の創出
法人設立による、地域内農家の雇用拡大

③その他

9. 行政や関係者が「事業計画、施工、利活用など」において苦勞した点

※事業を推進（計画、施工、利活用）するにあたっては、「事業関係者の苦勞や課題の克服、工夫」が重要であることから、その内容について記載。

例えば

- ・行政関係者が苦勞や工夫したことについて
- ・地元関係者の同意や協力を得るための苦勞など
- ・事業工種の選定における取り組み
- ・地域住民や関係組織（土地連、水土里ネット（土地改良区）、JA等）との連携や取り組み

※また、水土里ネットの役割や位置づけについて記載をお願いします。

10. 周辺地域への波及効果及び将来の展望

(別紙、受益地区における生産組織等の具体的内容)

1. 組織等の名称等

名 称		受託面積	ha
-----	--	------	----

※受益面積で地区外がある場合には () 書で外数で記載願います。

2. 組織等の概要

- (1) 構成戸数 戸 (うち専業農家数 戸)
(2) 労働力 人
(3) 作業受託面積等 (※地区外がある場合 () 書で外数で記載願います。)

	受託面積	作 業 内 容
田	ha	
畑	ha	
その他 ()	ha	

※作業内容は、例：田の場合は耕起、田植えなどを記載

(4) 機械保有状況

※組織で保有している機械名及び台数 (例：トラクター 3台)

3. 営農の概要

作物名	面 積	10 a 当たりの労働時間	10 a 当たりの収穫量
	ha	hr	kg

4. 生産組織等の設立の経緯

※設立した年度を必ず記載願います。

当該事業がきっかけで設立したのか、若しくは当該事業を契機としてどのように発展してきたのかなども記載願います。
また、今後の新たな取り組み内容等 (展望) があれば記載願います。

◆全国水土里ネット提出書類 ～農村振興整備部門～

1. 農業農村整備優良地区コンクールの推薦について（別紙様式－2）
2. 農業農村整備優良地区コンクール参加地区の概要（農村振興整備部門）（別添2）
3. 農業農村整備優良地区コンクール（農村振興整備部門）地区調書
4. その他説明資料（参加部門、団体名、地区名を記載した封筒に入れること）

(1) 写真等

◇取り組み内容やPRすべきことなどがわかる写真やパンフレット。

(2) 参考資料

マスメディアを活用した資料（新聞掲載記事など）、子どもからの作文など。

5. 提出部数

- 農業農村整備優良地区コンクール（農村振興整備部門）地区調書
 - ・・・1部及びデータ
- 農業農村整備優良地区コンクール参加地区の概要（農村振興整備部門）（別添2）
 - ・・・1部及びデータ
- その他説明資料
 - ・・・1部及びデータ

※なお、データは修正可能なファイル（word、一太郎等）をCDに保存して提出してください。

(農村振興整備部門)

◆農業農村整備優良地区コンクール審査会へ推薦された場合の問い合わせ先。
(別紙にしてください。担当者名簿の提出部数は1部で結構です。)

・参加地区担当者

氏名： _____ 所属・職名： _____ 電話番号： _____
携帯番号： _____

・都道府県水土里ネット担当者

氏名： _____ 所属・職名： _____ 電話番号： _____
携帯番号： _____

(別添2)

農業農村整備優良地区コンクール参加地区の概要（農村振興整備部門）（記入例）

I 地区の概要 (2.より転記)

ふりがな 地区名	〇〇県 △△第一（さんかくさんかくだいいち）地区
ふりがな 参加団体	名称：水土里ネット〇〇△△（みどりねっとまるまるさんかくさんかく） 住所： ふりがな 代表者氏名： TEL
事業の概要（対象事業、工期、 総事業費、受益面積・戸数）	県営畑地帯総合整備事業（担い手育成型）、H2年度～H16年度、5,000百万円、350ha・218戸
主要工事・規模	畑地かんがい350ha

II 主な活動内容 (2.の(4)より転記)

活動名	活動内容
・「そば打ち会」の設立 ・高校での活動 ・そばの新品種登録	・「そば打ち会」の設立により、そばの出店やそば打ち教室の講師活動等が盛んになった。 (20回/年) ・必修科目に「そば」が新設された。そば打ち段位を生徒が取得（H18現在：95名） ・韓国の高校と交流（そば産地同士の交流会発足） ・雪中で貯蔵する「厳寒そば」を開発。道の駅で生徒自ら販売 ・まちが研究機関を設置、新品種を登録した。

◆活動状況の主な指標 (5.より転記)	・そば打ち教室 事業実施前 0回/年 → 現在20回/年 ・活性化施設の利用 事業実施前 0人/年 → 現在13,000人/年 ・新そば祭り参加者 事業実施前 5,000人/年 → 現在50,000人/年 (人口2,000人余りにたいし約25倍の人が来場した)
◆関係組織 (7.より転記)	・〇〇町そば活性化協議会（町内の各種団体による組織） ・〇〇町そば祭り実行委員会（新そば祭りの運営）

III 推薦理由 (3.より転記)

--

※記入に当たっては、A4・1枚で納めてください。

農業農村整備優良地区コンクール参加地区の概要（農村振興整備部門）

I 地区の概要

ふりがな 地区名	
ふりがな 参加団体	名称： 住所：〒 ふりがな 代表者氏名： Tel. Fax.
事業の概要（対象事業、工期、 総事業費、受益面積・戸数）	
主要工事・規模	

II 主な活動

活 動 名	活 動 内 容
◆活動状況の主な指標	
◆関係組織	

III 推薦理由

--

平成 27 年度

農業農村整備優良地区コンクール

農村振興整備部門

－ 地区調書 －

都道府県名：

ふ り が な
団 体 名：

ふ り が な
地 区 名：

【位置図】

※管内の位置図の他、都道府県内のどの辺に位置するかも明示してください。

1. 地域の概要 (地域の地理的概要や特徴、農業や他産業の現状、環境や歴史的経緯などを記載)

2. 事業の概要

(1) 参加団体

- ① 団体名：
② 代表者 役職：ふりがな
氏名：
③ 住所 〒
④ 連絡先 tel fax
URL
e-mail
⑤ 当該団体設立経緯

(2) 地区名： ふりがな

(3) 事業の概要

※地域づくりの契機となった農村整備事業と現在の活動（事業）が異なる場合は、区別して記載して下さい。

- ① 事業名：
② 工期 着工年度： ～ 完了年度：
③ 総事業費： 千円
④ 受益面積： ha、受益戸数： 戸
⑤ 主要工事（工種と規模を記載すること）：

(4) 主な活動

活 動 名	活 動 内 容

3. 推薦理由

4. 農業農村整備事業の実施後の取り組み内容と効果

(取組内容毎に、目的、取組内容、効果、今後の展開について記載)

※記載内容の例：

- (1) 事業計画策定、実施、利活用（管理）を地域住民などの参画や合意形成により、取り組んだこと。
- (2) 地域における環境や景観など多面的機能の配慮に対応した取り組み。
 - ・地域資源の保全に対する取り組み。
 - ・伝統芸能の保全や継承などの取り組み。
- (3) 地域住民活動が活発化し、様々な催し物が行われるようになり、そのことにより地域の連帯感の醸成、地域の活性化に結びついている取り組み。
- (4) 教育機関や福祉関係等との連携や取り組み。
- (5) 他地域や全国への情報発信の取り組み。
- (6) その他

5. 「4」の取り組み内容などについての効果（数値等の比較できるもの）

指 標	事業実施前	現在
例： <ul style="list-style-type: none">・定住人口（Uターン、Iターンなど）・イベントなどの開催回数及び参加人数・総合学習などの実施回数及び参加人数・直売や地域特産品の開発（加工品など）の販売量や販売額など・雇用の場の創出・婦人会など地域組織の活動回数・観光農園や市民農園などの実施状況・他地域からの視察状況・その他		

6. 取り組みに対しての苦労、工夫及び地域の課題の克服について

※記載内容の例：

- ・事業の計画策定、実施、利活用（管理）を推進するために地域住民の参画を促す工夫。
- ・行政（県、市町村）の関係者が取り組むにあたっての苦労や工夫。
- ・地域リーダーの発掘に対する工夫。
- ・地域住民や関係組織（土地連、土地改良区、J A、教育機関等）との連携するための工夫。
- ・その他

※苦労や課題の克服など特筆すべきことがあれば含めて記載願います。

7. 地域づくりのための当該団体が中心（きっかけ）となり別途組織された集団について

組織名：

主な活動内容

当該団体との関係

（設立の経緯も記載願います。）

◇例えば

- ・N P O法人、〇〇協議会、歴史保存会、婦人会など

8. 本取り組みと農業について

(当該地区での農業振興に対してどのような取り組み、活動をされていますか。)

①今回の地域づくりにおける取り組みは農業や農家にどのような影響を与えたか、また、農業自体がどう変わってきたか。

②環境に配慮した農業の展開、新規作物の導入について。

9. 今後の展望

10. その他参考事項

(1) 当該地区において過去に実施した農業農村整備事業とその効果

※当該地域において、これまでに実施した農業農村整備事業が基盤となって、現在の地域づくりにどのような影響があるのか把握するため、国営、県営、団体営問わず記載願います。

- ① 事業名：
- ② 工期 着工年度： ～ 完了年度：
- ③ 主要工事（工種と規模を記載すること）：

④ 効果：

(2) 多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度の活用について

①該当面積： ha	②交付金の額： 千円
③活用内容（予定含む）	

※多面的機能支払制度、中山間地域総合整備事業を実施した地域のみ記載。直接支払を受けていない場合は「なし」と記載。

11. 既受賞内容

当該団体（地区）が過去に農業関係の他の賞を受賞している場合、その賞について記載する。

例えば、

- ①賞の名称：○○○○○賞
- ②表彰機関：○○県知事
- ③受賞年：平成14年度